

Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー 取扱説明書



apt-X対応

apt-X
Low Latency
対応

この度は、Bluetoothオーディオトランスミッター&レシーバー「**MM-BTAD5**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しております。ご使用前のによくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①本体 1台
 - ②充電用microUSBケーブル..... 1本
 - ③3.5mmオーディオケーブル..... 1本
 - ④取扱説明書・保証書(本書) 1部
- ※欠品や破損があった場合は、**品番(MM-BTAD5)と上記の番号(①~④)と名称(3.5mmオーディオケーブルなど)**をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

絵表示の意味

警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

注意 注意していただきたい内容

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

警告

- 自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。
- 使用前に音量を最小にしてください。突然大きな音が出ると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや液体などの液体がこぼれた場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けると、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 濡れた手で充電し、充電ポートに接触しないようにしてください。感電の原因になります。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

注意 初めから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

注意 使用後は必ず電源をOFFにしてください。または、接続を切断してください。音楽再生をしていない場合でも、接続中であれば電力を消費します。

注意

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 必要以上に長時間の充電はしないでください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300~400回繰り返し充電できます。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- 十分に充電しても使用時間が著しく短くなってきたり、使用できない場合は電池の寿命ですので、新しい製品をお買い求めください。(電池交換はできません)
- 本製品が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電やショートなどによる火災や故障の原因となります。
- 充電が終わったら必ずケーブルを外してください。また、十分な充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を終えてください。所定の充電時間を超えて充電した場合、電池が発熱・発火する危険性があります。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。
- 本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の放射を停止してください。

良好な通信を行うために

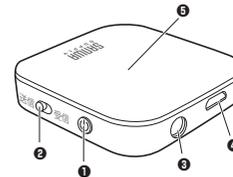
- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドセット、ヘッドホン、スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス、キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が入り抜けたりすることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

1. 特長

- 切替えスイッチで、受信と送信の両方に使用可能なBluetoothオーディオレシーバー&トランスミッターです。
- 受信機モードに切替えれば、Bluetoothに対応していないイヤホンやヘッドホンも無線化できます。
- 送信機モードに切替えれば、Bluetoothに対応していないTVの音声などをBluetoothのスピーカーなどに飛ばせるトランスミッターとして使用できます。
- 受信機モードや送信機モードはワンタッチで簡単切替えできます。
- マルチポイント機能搭載で、送信機モードの時に2台のBluetooth機器に同時に音声を飛ばすことができます。※同時接続した場合は、SBC接続になります。通信距離も短くなります。
- 一般的な3.5mmイヤホンジャックを採用しているため、通常使用しているイヤホンなどがそのまま使用できます。
- 高音質で遅延が少ないapt-X Low Latencyコーデック対応です。(apt-X Low Latency対応機器との組み合わせでお使い頂けます。)*apt-X Low Latencyは、対応機種の使用に限ります。apt-X Low Latency非対応の場合、SBCコーデックになります。*SBCコーデックとapt-X Low Latencyコーデックの切替えは、本製品ではできません。
- 本製品を送信用と受信用として2台使用すれば、簡単にBluetoothのワイヤレス環境を構築できます。
- ポケットに入れて持ち運べる手のひらサイズで、重量は軽量の18gです。

- ・マイクを搭載していないので通話はできません。
- ・送信で2台同時に接続している場合は接続コーデックがSBCになります。
- ・送信で2台同時に接続している場合は通信距離が1台の接続機よりも短くなります。

2. 各部の名称と動き



- ①マルチファンクションボタン(MFBボタン)
- ②切替えスイッチ…送信(トランスミッター)・受信(レシーバー)を切替えます。



スライド式ボタンで送信/受信モードを切替えることができます。

送信 ←→ 受信

- 3.5mmステレオミニジャック…オーディオケーブルやイヤホンを接続します。
- 充電ポート…付属のmicroUSBケーブルで充電します。
- LED

デバイス名	MM-BTAD5
パスキー	0000(ゼロ4つ)、1111、8888、1234 ※受信機(レシーバー)でのご使用の場合、ペアリング時にパスキーを求められた場合は、「0000(ゼロ4つ)」を入力してください。

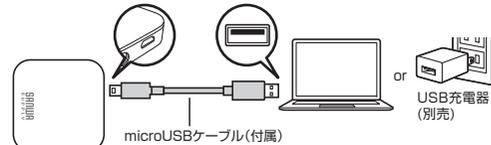
3. 充電方法

お使いになる前に

本製品は、お使いになる前に充電をしておく必要があります。下記の手順で充電を行ってください。

- ・はじめてご使用になるときは、赤いLEDが消えるまで完全に充電してください。(約2~3時間)
- ・必ず付属のmicroUSBケーブルで充電してください。

■ 充電方法



1. 充電用microUSBケーブルを本体の充電ポートに接続します。
2. 充電用microUSBケーブル(Aコネクタ)をパソコンやUSB充電器のUSBポートに接続します。LEDが赤く点灯します。
3. 赤いLEDが消えたら充電完了です。

■充電時の期
LEDが赤く点滅し始めたら、上記の方法で充電してください。

4. 動作一覧

- ・この製品は、受信機と送信機の2通りのご使用が可能です。電源を入れる前に、切替えスイッチで切替えてください。
- ・受信機、送信機の機能を入れ替える際は、電源をOFFにして約3秒待ち、切替えスイッチで切替えてから約3秒待ってから電源を入れてください。
- ※切替えの動作が早すぎるとうまく切替えができない場合があります。
- ・充電しながらの使用はバッテリー劣化などの影響がありますのでおやめください。
- ・受信機、送信機の機能を入れ替えるとペアリング情報が削除(初期化)されますので切替え後は再度ペアリングが必要です。
- ・送信機で2台同時接続を行う際は、接続のコーデックが2台ともSBC接続になります。(通信距離も短くなります)

■ 自動電源OFF

接続機器との接続が切れた状態で約5分経過すると、自動で電源がOFFになります。

■ 送信機

状態	操作	LED
電源ON	MFBボタンを約3秒間長押し	青色に2回点滅
電源OFF	電源ONの状態からMFBボタンを約3秒間長押し	赤色に点滅後消灯
ペアリングモード	電源ONの状態からMFBボタンを2回押す ※何もペアリングしていない状態では電源を入れると自動でペアリングモードになります。	青色に素早く点滅
充電時	—	赤色点灯
充電完了	—	赤→消灯
電池残量低下時	—	赤色に点滅
スタンバイ(接続時)	—	青色に点灯
スタンバイ(未接続)	—	1秒ごとに青色に1回点滅

■ 受信機

状態	操作	LED
電源ON	MFBボタンを約3秒間長押し	青色に2回点滅
電源OFF	電源ONの状態からMFBボタンを約3秒間長押し	赤色に点滅後消灯
ペアリングモード	電源ONの状態からMFBボタンを2回押す ※何もペアリングしていない状態では電源を入れると自動でペアリングモードになります。	青赤交互点滅
充電時	—	赤色点灯
充電完了	—	赤→消灯
電池残量低下時	—	赤色に点滅
スタンバイ(接続時)	—	青色に点灯
スタンバイ(未接続)	—	3秒ごとに青色に2回点滅
一時停止/再生	音楽再生中にMFBボタンを短く押すと一時停止し、再度押すと再生します。	—

5. 機器との接続(ペアリング方法について)

送信機モード Bluetooth対応機器に音を送信する

TVやオーディオ機器の音声をBluetooth対応のヘッドホンやスピーカーへ送信できます。

3.5mmステレオミニプラグの機器



TV、パソコン、Walkman、iPodなど

Bluetooth対応機器



ヘッドホン、スピーカーなど

■例) Bluetooth対応のステレオヘッドセットと接続する場合

- 1)本製品の電源OFFの状態でご替えスイッチを送信にします。
- 2)本製品の電源を入れると自動でペアリングモードになります。(本製品のLEDは青色に素早く点滅します)
- 3)ヘッドセットをペアリングモードにします。MFBボタンを2回押ししてください。
- 4)数秒後ペアリングが成功すると本製品のLEDが青点灯になります。

これで設定完了です

受信機モード Bluetooth対応機器から音楽を受信する

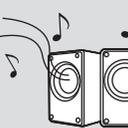
Bluetooth対応のスマートフォンやパソコンから音楽を受信して接続したイヤホンやスピーカーで再生できます。

Bluetooth対応機器



スマートフォン、パソコンなど

3.5mmステレオミニプラグの機器



ヘッドホン、スピーカーなど

■例) スマートフォンと接続する場合

- 1)本製品の電源OFFの状態でご替えスイッチを受信にします。
- 2)本製品の電源を入れると自動でペアリングモードになります。(本製品のLEDは青赤交互点滅になります)
- 3)スマートフォンの「設定」→「Bluetooth」をONにして、「TMM-BTAD5」を選択します。
- 4)本製品のLEDが青色の点灯になるとペアリング成功です。

これで設定完了です

Bluetooth対応機器2台同時接続について(マルチポイントの方法)

《送信時》※本製品のスイッチを「送信」にしてください。

- 1)お使いのBluetooth機器(1台目)と本製品をペアリングモードにします。(本製品のLEDは青色に素早く点滅します)
 - 2)本製品のMFBボタンを2回押ししてペアリングモードにします。(本製品のLEDは青色に素早く点滅します)
 - 3)2台目のBluetooth機器を本製品にペアリングします。ペアリングが成功すると、本製品のLEDが青色の点灯になります。
 - 4)2台目の機器で音声が聞こえます。
- ※2台同時に聞こえない場合は再度本製品のMFBボタンを1回押ししてみてください。
- ※接続した時に、ノイズのようなものが聞こえる場合がありますが、一時的なものになります。音楽再生時には聞こえなくなります。
- ※接続時のコーデックはどちらもSBCになります。(通信距離も短くなります)

3.5mmステレオミニプラグの機器



TV、パソコン、Walkman、iPodなど

Bluetooth対応機器



ヘッドホン、スピーカーなど2台同時に受信可能

《受信時》※本製品のスイッチを「受信」にしてください。

- 1)お使いのスマートフォン(1台目)と本製品をペアリングします。(本製品のLEDは青赤交互点滅になります)
- 2)本製品のMFBボタンを2回押ししてペアリングモードにします。(本製品のLEDは青赤交互点滅になります)
- 3)2台目のスマートフォンと本製品をペアリングします。ペアリングが成功すると、本製品のLEDが青色の点灯になります。
- 4)1台目のスマートフォンでMM-BTAD5を選択します。
- 5)1台目のスマートフォンと本製品が接続されれば設定完了です。

6. 本製品を2台使用して音声を送受信する

本製品を送信用と受信用として2台使えば簡単にBluetoothワイヤレス環境を構築できます。

3.5mmステレオミニプラグの機器(送信側)



TV、パソコン、Walkman、iPodなど

本製品1台

本製品2台

3.5mmステレオミニプラグの機器(受信側)



ヘッドホン、スピーカーなど

- 1)本製品の切替スイッチを1台を「受信」、もう1台を「送信」にしてください。
- 2)本製品の電源を入れると自動でペアリングモードになります。
- 3)ペアリングモードにならない場合は、MFBボタンを2回押ししてください。
- 4)本製品のLEDが青色の点灯になるとペアリング成功です。

これで設定完了です

7. 各機器との接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続され使用できます。

使用できない場合は、MFBボタンを押すか、接続または再度ペアリングを行ってください。

8. apt-X、apt-X Low Latencyについて

- 本製品はapt-X、apt-X Low Latencyに対応です。相手側がapt-X、apt-X Low Latencyに対応していない、もしくは利用できない状態の場合にはapt-X、apt-X Low Latencyを利用した接続にならないことがあります。
 - apt-X、apt-X Low Latencyは接続する機器や環境などにより、遅延低減や音質向上の効果が変わる場合があります。
 - apt-X、apt-X Low LatencyはSCMS-Tに対応していません。そのため、スマートフォンなどのワンセグ等の一部アプリケーションでBluetoothによるメディアの音声が再生できない場合があります。その場合は、スマートフォン側でapt-X、apt-X Low Latencyを「利用しない」に設定を変更し、再度本製品と接続してください。
- ※お使いのデバイスがapt-X、apt-X Low Latencyに対応のものであるかご確認ください。

9.仕様

適合規格	Bluetooth Ver.4.1※1
伝送方式	FHSS
周波数範囲	2.4~2.48GHz
通信距離	最大約10m(使用環境によって異なります)
送信出力	Class2※2
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー 充電時間:最大約2時間 連続再生時間:送信時/最大約13時間、 受信時/最大約12時間 スタンバイモード/最大約200時間※3
サイズ・重量	W43.8xD43.8xH12.4mm・約18g
接続	3.5mmイヤホンジャック入出力
対応プロファイル	A2DP(オーディオ) ※通話に必要なプロファイル(HSP、HFP)に対応していませんので、通話はできません。
対応コーデック	SBC、apt-X、apt-X Low Latency※4
対応機種	受信の場合: Bluetoothに対応したスマートフォン・タブレット・パソコン 送信の場合: Bluetoothヘッドセット・イヤホン・スピーカー、他3.5mm接続に対応したTV・スマートフォン・音楽プレーヤーなど

- ※1:Bluetooth Ver 4.0/3.0/2.0/1.2対応機器との接続も可能です。
 - ※2:Class 1の機器との接続も可能です。
 - ※3:時間は使用状況によって異なります。
 - ※4:apt-X/apt-X Low Latency対応機器と接続しないとapt-X/apt-X Low Latencyでの接続はできません。
- ※apt-X/apt-X Low LatencyはSCMS-Tに対応していません。スマートフォンのワンセグなど一部アプリケーションでは使用できませんのでご注意ください。
- ※送信時2台同時に接続した場合はSBCでの接続になります。(通信距離も短くなります)

10.よくある質問

Q. 接続やペアリングが突然できなくなった。

- A. 本製品と相手機器の電源を両方とも一度切ってから、再度接続やペアリングを行ってください。

Q. 本製品に接続したイヤホンから音が聞こえません。(パソコンの場合)

- A. 1「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。
2「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
3「音声」タブを選択し、「音の再生」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

Q. 機器間の通信距離は?

- A. 10mまでです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されますか?

- A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。

Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?

- A. いいえ。基本的に初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。
- ※受信・受信を切替える初回化されるので、その際は再度ペアリングを行ってください。

Q. 接続したヘッドホンから雑音が聞こえる。

- A. 通信範囲を超えたり、壁や人間が身体(接触した状態)などを挟むと雑音が入ります。

11.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありまた場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)歳没や中古販売、オークション・転売等でご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書はこちら
貼付して保管してください

最新の情報はWEBサイトで!!
<https://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
 - Q&A(よくある質問)
 - ソフトダウンロード
 - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社 ver.1.0

岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123

東京 サプライセンター / 〒140-0566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033

札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区八雲西4-1-1 パストラルビル8F
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990

仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権ケ岡1-6-37 宝来ビルビル
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633

名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジャマビル
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033

大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮前4-1-45 新大阪八千代ビル
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315

福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-20 博多相互ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078